



3月定例会

3月11日午前9時、43名が深坂自然の森の、森の家に集合した。植樹班、草刈班、天狗巣病対策班、施肥班、清掃班、ライオンズ公園班に分かれて作業開始。施肥作業というのは、1本の桜の木に対し、周囲3箇所に穴を掘って化学肥料を埋めて行くというものだ。これまた丁寧にとやると、大変な作業量だ。

さくら祭

4月1日深坂自然の森で、地元の安岡自治会の主催で恒例の「さくら祭」が開かれた。その式典の中で、その年植えた桜苗木の下関市への贈呈式が今年も行われた。もう植樹する場所がないので、今年は24本でした。

式の終わりに、「さくら友の会」の広報部長が、勧誘スピーチをしました。「『サクラ友の会』は、『サ、クロウ友の会』です。さ、苦労をと共に致しましょう。」

そのせいでも無いでしょうが、維持管理部会は4月8日に部会の会合を開いた後、11名の方が深坂の森に出かけ、倒れた桜を起こしたり、鳥居を整えるなどの作業をされました。本当に維持管理部会は活動的です。感謝して拍手を贈りましょう。

桜苗仮植場

3月4日に植えた桜の苗木は4月の末に現地を訪れてみると、青々とした若葉をつけたて元気よく育っていました。

これを途中で枯れた桜の代替にする予定です。枯

れてがっかりしていた人が再び自分の桜を発見したら、きっと笑顔がこぼれるでしょう。

さくら友の会、もう直ぐ一年

今年19年1月の参加の時、やっと我が家のプレートを見つけました。主人とわたしのです。主人のは台風で倒れたためスマートな桜でした。私の方は年末に交通事故で車が乗っかかり折れたそうですが、枝の太い木を植え替えて頂きました。斜面の草刈の手伝いや枝集めなど、自宅の草取りとは比べ物にならないくらい大変でした。鎌を持参の参加でしたが竹のような強い萱を刈るのは力があるし、斜面に向かっての格好は日頃していないので続くのかなと思ったほどです。

元気な若い人、高校生、大学生にも参加してほしいですね。草刈機のある人は大歓迎です。一汗かいたあと、お弁当や豚汁やお茶をいただきましたが仕事のあ

投稿

とはとてもおいしいです。小雨のときもありましたが皆さんまじめでリーダーの人が声をかけるまで、もくもくと仕事をさせてます。

「主人が桜の木を二本申し込んだぞ!!」と言ったころは、わたしは目の前のことでいっぱい、思いはありませんでしたが主人が亡くなって、さくら友の会の方に声をかけていただき、縁を大切にしなければと思い参加しました。プレートが見つかって嬉しいです。隣り合わせに植えてないのがちょっと寂しいですが、...

中尾和子(会員交流部会)

桜源郷の夢

投稿

桜の開花とともに、全国で野球が始まりました。今年の球界の話題は、何と云っても「早大、ユウ君。楽天、マー君。」がその主人公です。我が家の七歳と三歳の孫も「まー君とゆー君」で、家族が集まれば主役です。弟の侑介は、この春に幼稚園に入園しましたので、その記念に「深坂桜植樹」を済ませました。そのプレートには『星のように・・・』と記しました。兄の信人の誕生記念植樹は平成13年に『桜のように・・・』と記しました。

私が「深坂公園桜植樹事業」を知ったのは、信人が誕生した翌春のことで、その翌年の植樹を申し込みました。植えていただいた桜の木が気になります。ときどき草刈を致しました。昨年は『下関深坂さくら友の会』募集がありましたので、すぐに申し込みました。この行事の参加を最優先にして、毎回参加させてもらっています。

私には、深坂公園に大きな夢があるのです。その夢は、孫達が成人した時に、この桜の下で『深坂の花見会』を催すことです。花見用のお酒は既に用意しています。信人には梅酒、侑介には枇杷酒です。いずれも誕生の年に作ったものです。そのときの主人公は何と云っても『孫達と深坂全山の桜』です。「桜のように・・・星のように・・・孫達の成人を祝う」これほどの馳走が他に有るでしょうか。

下関市の自然・・・とりわけ深坂公園の自然保護活動の拡充が、市民の環境保全とその士気昂揚の役割を果たすものと確信しております。『子どもと自然を育む都市・下関市』の旗頭として「深坂さくら友の会」の益々の隆盛を祈念しております。

(会員交流部会 中原彰)

投稿募集

桜や、深坂の森、さくら友の会に関する皆様のご意見、想いなどをお寄せ下さい。(400~600字)

ホームページの写真募集

会員の桜、ネームプレートの写真やコメントを募集しています。それらは順次、さくら友の会のホームページに載せていきます。写真はデジカメで撮り、メール添付で応募下さい。

予定

総会定例会 7月16日(日)9時30分
深坂自然の森、森の家において
総会の後、講演会を予定しています。